

CASBEE_Sapporo2014v1.2
 フィネス福住ガーデンシティセンターコート

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D	評価点	重み係数	評価点	重み係数						
Q 建築物の環境品質														
Q1 室内環境														
1 音環境														
1.1 騒音														
1.2 遮音														
1.3 吸音														
2 温熱環境														
2.1 室温制御														
2.2 湿度制御														
2.3 空調方式														
3 光・視環境														
3.1 屋光利用														
3.2 グレア対策														
3.3 照度														
3.4 照明制御														
4 空気質環境														
4.1 発生源対策														
4.2 換気														
4.3 運用管理														
Q2 サービス性能														
1 機能性														
1.1 機能性・使いやすさ														
1.2 心理性・快適性														
1.3 維持管理														
2 耐用性・信頼性														
2.1 耐震・免震														
2.2 部品・部材の耐用年数														
2.4 信頼性														
3 対応性・更新性														
3.1 空間のゆとり														
3.2 荷重のゆとり														
3.3 設備の更新性														

CASBEE_Sapporo2014v1.2
 フィネス福住ガーデンシティセンターコート

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			C			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			C			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮						2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D		2.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C			2.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制	A				日本住宅性能評定基準の省エネルギー対策等級4を満たしている。	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	A					3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化					BEI 非住宅 — 住宅(専有部) 0.92	4.8	0.50	-	-	4.8
集合住宅以外の評価(3a.3b)	A					-	-	-	-	-
集合住宅の評価(3c)	A				低炭素建築物新築等計画認定を取得している。	4.8	1.00	-	-	-
4 効率的運用						3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価						-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	A					3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	A					-	-	-	-	-
集合住宅の評価						3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	A					3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	A					3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護						3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水					節水型器具を使用している。	4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減						2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減		B				2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B				3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B				3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B				1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B				2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B			乾式間仕切、断熱材のウレタン吹付等、分別が比較的容易である。	4.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避						4.0	0.70	-	-	-
1 消火剤		B				-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)		B			ODP=0、GWP<10の断熱材を使用している。	4.0	1.00	-	-	-
3 冷媒		B				-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		B			LC02排出率が71%である。	4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮						3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止		B				3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D		3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.5	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減		B			浸透ます、浸透トレンチにより雨水流出を抑制している。	4.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制					十分な駐車スペースを確保している。	4.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D		3.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮						3.3	0.33	-	-	3.3
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	-
1 騒音						3.0	1.00	-	-	-
2 振動						-	-	-	-	-
3 悪臭						-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制						3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制						3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制						3.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制						3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制						4.7	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					「光害対策ガイドライン」のチェックリスト項目の過半を満たしている。	5.0	0.70	-	-	-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					バルコニーの設置によりグレアの抑制を行っている。	4.0	0.30	-	-	-